

起動

1. OmniCure® S2000 Elite システムを電源に接続しない状態で、ランプモジュールを取り付けます (3 ページ参照)。
2. 光学バンドパスフィルターを取り付けます (4 ページ参照)。
3. ユニットの電源は、正しくアースされた AC コンセントに接続してください。
4. ユニット背面の電源スイッチを ON にします。
5. システムの電源を入れると、ライトリングが点灯し、その後数秒後に画面が初期化されます。デモシステムでは、デフォルトで起動時にランプが点灯しません (設定-デフォルトランプの状態に変更可能です)。

注：デフォルトのランプ状態設定をオンに変更した場合、起動時にランプが点灯します。ランプのウォームアップ中にシステムを停止させないでください。

ライトガイドの取り付け

1. ライトガイドから保護用エンドキャップを外します。
2. ライトガイドをフロントパネルのライトガイドポートに、「カチッ」と音がしてセットされるまで挿入します。

注：ユニットの電源を入れ、システムが初期化されると、ライトリングの色が変化し、以下の状態を示します。

赤色：ライトガイドが検出されません

ブルー：ライトガイド挿入済み - システムのウォームアップ

マゼンタ：ライトガイド挿入済み - クローズドループフィードバック無効

黄色：ライトガイド挿入済み - クローズドループフィードバック有効、校正が終了間近

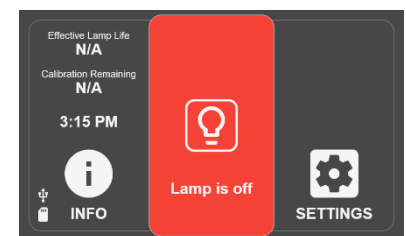
グリーン：ライトガイド挿入済み - クローズドループフィードバック有効



OmniCure S2000 Elite の使用方法

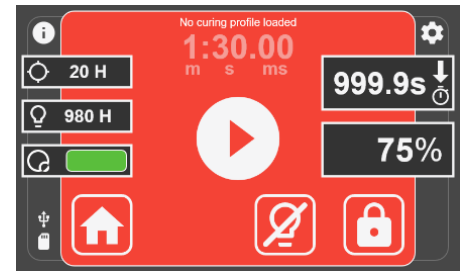
1. 初期化期間の後、OmniCure S2000 Elite はホーム画面での 3 つの主なオプションを表示します：情報、実行、設定。
2. ランプが消えている間でも、情報および設定にアクセスすることができます。
3. 露光を開始するには、ランプアイコンを押して点灯させます。ランプをウォームアップします (Excelitas は、安定した光出力を確保するため 20 分の適切なウォームアップを推奨しています)。ウォームアップ中は、画面に最小ウォームアップのカウントダウンが表示されます。

警告：ライトガイドの先端からは、紫外線と可視光線が放出されます。



露光の実行

1. 液晶画面のアイコンをタッチして、RUN 画面に入ります。
2. START/STOP スイッチ、または画面上の PLAY をタッチすることで露光を開始することができます。
3. カウントダウンタイマーが終了するまで、露光の一時停止と再開が可能です。カウントアップタイマーは、一時停止、再開が無制限にできます。
4. 露光をリセットするには、露光を一時停止して、RESET アイコンをタッチする必要があります。カウントダウンタイマーが切れると、自動的に露出がリセットされます。
5. 露光が実行中（停止または一時停止中）でなければ、いつでも終了して HOME 画面に戻ることができます。



露光時間の設定

1. 実行画面では、LEFT または RIGHT ナビゲーションボタンでタイマーを変更することができます。
2. あるいは、タッチスクリーンのタイマーウィンドウを押し、数字パッドで希望のカウントダウン時間を入力します。
3. カウントアップタイマーを設定する場合は、0 を設定します。

照度レベルの設定

1. ナビゲーションボタン (UP または DOWN) を使って、照度を設定します。
2. あるいは、タッチスクリーンで照度ウィンドウを押し、数字パッドで目的の照度を入力します。
3. W/cm² と W 単位での照度制御を可能にするために校正を行う必要があります。

システムのロックとロック解除

1. RUN 画面で LOCK アイコンを選択し、PIN を入力してシステムをロックします (デフォルトの PIN は 1234)
2. システムがロックされると、ユーザーは画面を終了したり、露出設定を変更したりすることができなくなります。ユーザーは、START/STOP ボタン、再生のアイコン、またはフットペダルを使用してのみ、露光を開始、停止、またはリセットすることができます。StepCure®プロファイルを実行する場合、ユーザーは定義済みの入力によってのみ露光を開始、停止、リセットすることができます。
3. ロック解除するには、UNLOCK アイコンを選択し、PIN (初期値 :

注 : PIN は、設定 → 高度なセットアップ → 画面ロックピンで変更することができます。

フットペダル/リモートデバイスの使用方法 (背面パネル : 3.5mm ジャック)

フットペダルを踏む、あるいは瞬間的に接点を閉じることで、START/STOP ボタンを押すのと同じ機能を実現します。ユニットの現在のモード (照度 y またはタイマー) に応じてシャッターが開きます。

ランプモジュールの取り付け

OmniCure S2000 Elite システムは、2種類のランプを選択することが可能です。UV1 標準キュアランプと UV3 表面キュアランプ。硬化のニーズに合わせて、適切なランプの種類を選んでください：

警告：水銀への曝露は、人体への健康被害をもたらします。ランプの開梱や取り付けの際は、必ず保護服やフェイスマスクを着用してください。

1. AC 電源コードがユニットから外れていることを確認します。
2. 付属の工具（3mm アレンキー）を使ってランプアクセスサイドパネルのネジを外し、パネルをユニットカバーから取り外します。
3. セラミック部品とガラスの縁だけを持って、ランプモジュールを容器から注意深く取り出してください。

警告：ランプを扱うときは、ESD 保護具を着用し、回路基板に触れないようにしてください。

4. 図のように、ランプをユニット正面に向け、電源リード線を手前に向けて配置します。

注意：電球のガラスエンベロープやリフレクターの内面には触れないようにしてください。皮膚の油分は、ランプモジュールの早期故障の原因となることがあります。

5. ランプの中央部がスプリングクランプに収まる位置にあることを確認してください。ランプをスライドさせて、スプリングクランプにカチッと はめます。リフレクターの先端は、ランプホルダーの凹部にぴったりと嵌まるようにします。

6. ランプモジュールの後部にある 6 ピンの Intelli-Lamp® センサーコネクタを見つけ、ランプハウジングの壁の後ろにあるその対の片方に接続します。

ヒント：Intelli-lamp のコネクタは正しい向きでないと取り付けられません。うまく装着できない場合は、コネクタを 180° 回転させてみてください。

7. ランプとコネクタの間の仕切り壁にあるグロメットにインテリランプの配線を挟み込みます。

警告：これを行わないと、ドアが完全に閉じず、システムの電源が入らなくなります。

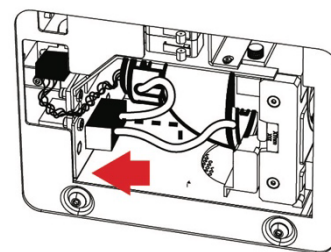
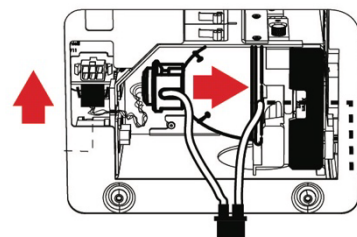
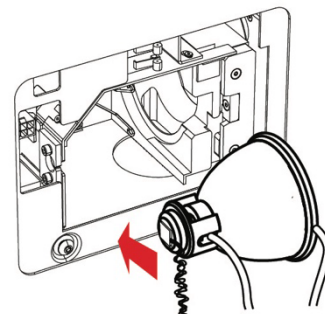
8. 2本のリード線が付いた電源コネクタを見つけ、ランプハウジングの壁の底にあるコネクタに接続します。

ヒント：ランプ電源コネクタは正しい向きでないと取り付けられません。挿入しにくい場合は、コネクタを 180° 回転させてみてください。

9. ランプ前面のランプアノード冷却フィン（バー）とランプ電源リードがランプホルダーのカットアウト内の中央にあることを確認することが非常に重要です。必要に応じてランプを回転させてください。

10. ランプハウジングのサイドパネルを交換し、固定用ネジを締めます。

警告：ランプハウジングパネルが完全に固定されていない場合、ユニットには電源が入りません。



光学フィルターの取り付け

OmniCure S2000 Elite は、ユーザーが交換可能な光学フィルターカートリッジを装備しています。7種類のフィルターが選択可能です。

400-500nm、365nm、320-390nm、250-450nm、320-500nm、フィルターなし、カスタマーフィルター。

硬化のニーズに応じて適切な光学フィルターを選択してください。

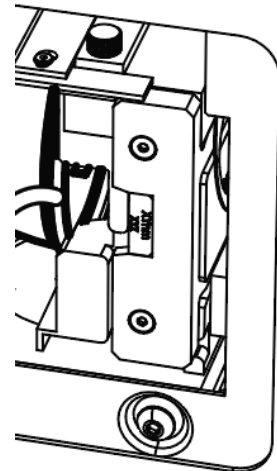
1. AC 電源コードがユニットから外れていることを確認します。
2. 付属の工具（3mm アレン）を使ってランプアクセスサイドパネルのネジを外し、パネルをユニットのカバーから取り外します。
3. フィルターカートリッジを梱包から慎重に取り出し、フィルターの型番タグがランプの方を向くようにスロットに挿入してください。
4. 付属の M4 ネジで、3mm アレンキーでフィルターをシステムに固定します。

注：フィルターを取り外した後、別のフィルターに交換しない場合は、別の時期に別のフィルターを取り付けるまで、ネジをシステムに戻すことを推奨します。これにより、ネジの紛失を防ぐことができます。

5. ランプハウジングのサイドパネルを交換し、固定用ネジを締めます。
6. AC 電源コードを再接続し、本体背面の電源スイッチを入れると、システムの電源がオンになります。

注：フィルターが正しく取り付けられていれば、自動的に種類を認識します。GUI の「情報」セクションに表示されます。

警告：フィルターが正しく取り付けられていない、または固定されていない場合、フィルターを認識できず、ランプが点灯しないことがあります



規制情報

製品の安全性と電磁波適合性

OmniCure S2000 は、製品安全および電磁波適合性要件に適合することが試験により確認されています。試験の完全なリストおよび認証の詳細については、OmniCure 担当者にお問い合わせいただくか、ユーザーガイドを参照してください。

理事会指令 2014/35/EU	低電圧指令
理事会指令 2014/30/EU	EMC 指令
理事会指令 2012/19/EU	WEEE 指令
(EU)2015/863 で改正された理事会指令 2011/65/EU	RoHS
理事会指令 2014/53/EU	無線機器

FCC ID : 2AXSI-SSERIES

IC ID : 26590-SSERIES



WEEE 指令 中国版 RoHS CE マーキング

